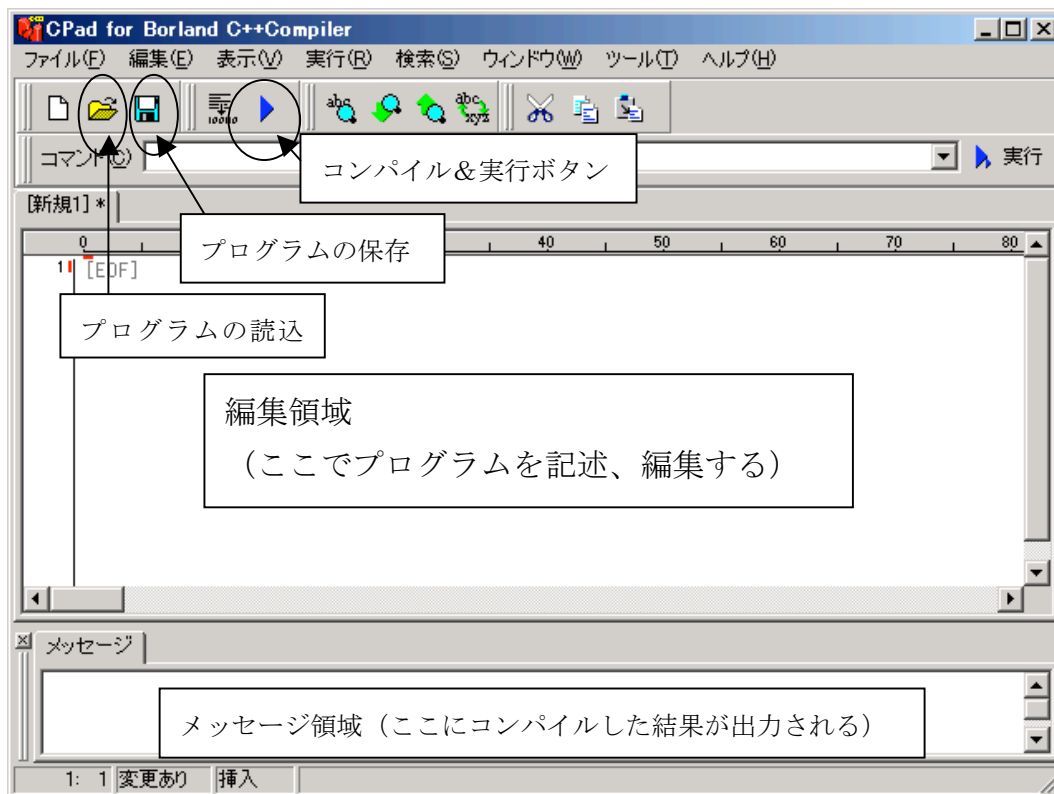


<プログラムの作成 および コンパイル&実行>

以下の工程を経ながら、プログラムを作成する。

- (1) プログラムをエディタで編集する。
- (2) プログラムのコンパイル（機械語に翻訳）し、実行形式のファイルを作成する
- (3) 実行形式のファイルを実行する。

※ プログラムのエディタ画面



(1) プログラムをエディタで編集する。

- ・「編集領域」にプログラムを記述する。
- ・プログラムを記述したら、プログラムのファイルを「プログラムの保存」シンボルをクリックして保存する。

プログラムのファイルの拡張子は必ず「c」にする（例：program.c など）

- ・既存のプログラムを読み込む場合は、「プログラムの読込」シンボルをクリックして読み込む。

(2) プログラムのコンパイルと実行ファイルの作成／プログラムの実行

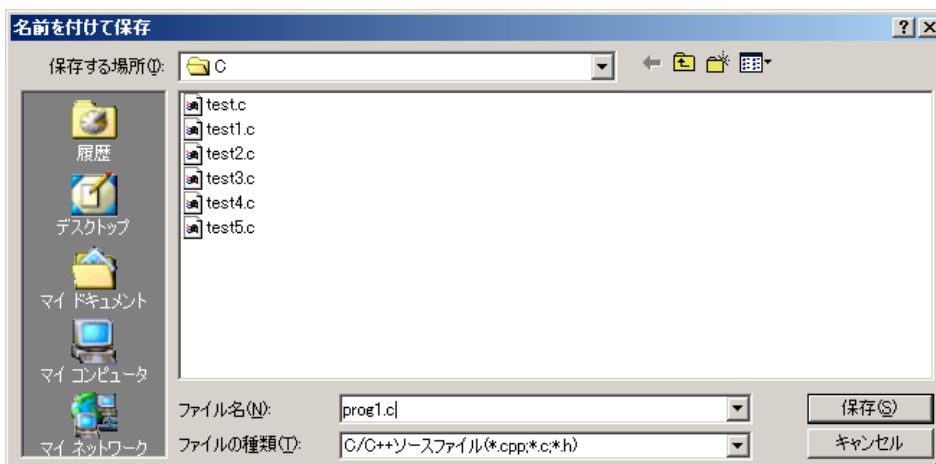


- ・「コンパイル&実行ボタン」をクリックすると、
 - ==> (i) プログラムのコンパイル
 - ==> (ii) プログラムの実行ファイルの作成
 - ==> (iii) 実行ファイルの実行

の3つを自動的に順に実行する。

(i) プログラムのコンパイル

- ・コンパイルするプログラムをハードディスクに保存していない場合は、保存するプログラムのファイル名を入力して保存する。このとき、ファイルの拡張子は必ず「c」にする。下図では、ファイル名を「prog1.c」として保存している。



- ・コンパイルの結果は「メッセージ領域」に表示される。プログラムに誤りがある場合、メッセージ領域の出力はプログラムの誤りを見つけ出すときの有力な手がかりとなる。

